

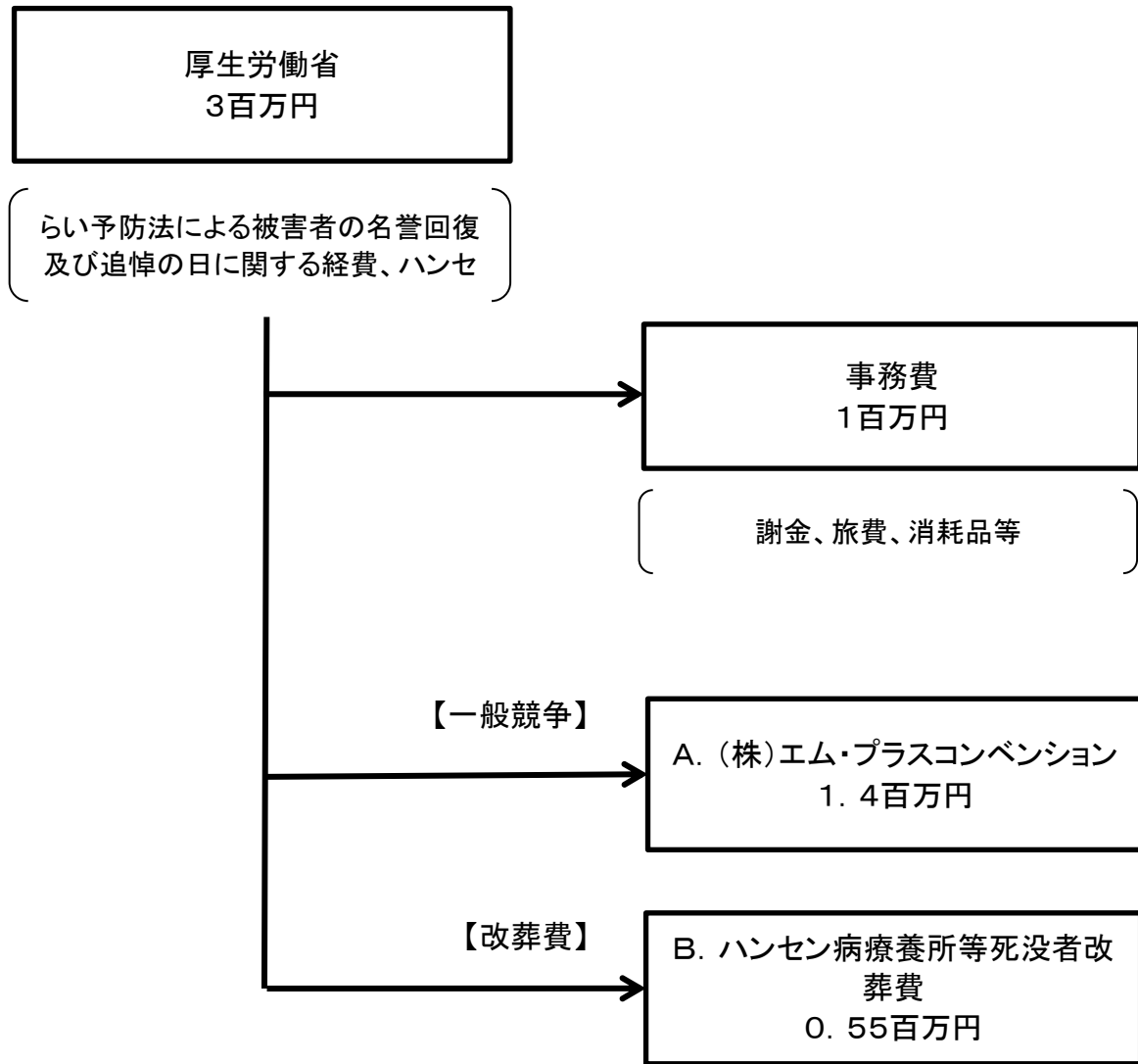
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	名誉回復事業	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 田原 克志				
会計区分	一般会計	政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①名誉回復事業 中学生を対象としたパンフレットに加え、指導者向けのパンフレットも作成し、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発を実施する。 ②改葬費 各療養所の納骨堂に眠る遺骨について、親族等の墓に改葬するための費用の支給を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	31	31	31	30	30	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	31	31	31	30	30	
		執行額	21	22	3			
	執行率(%)	67.7	70.1	9.7				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ハンセン病の正しい知識の普及啓発及び名誉回復を図る。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	中学生向けパンフレットの印刷部数、国立ハンセン病療養所死没者の改葬数		活動実績 (当初見込み)	部、柱	1,965,000 17	1,805,000 11	0 11	- (1,500,000) (11)
						( )	( )	
単位当たりコスト	死没者改葬費 50,000(円/柱)		算出根拠	死没者改葬費の単価は5万円/柱としている。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	ハンセン病名誉回復事業諸謝金	0	0					
	ハンセン病名誉回復事業委員等旅費	1	1					
	ハンセン病名誉回復事業等庁費	30	30					
	計	30	30					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	業者選定に当たっては、一般競争入札によるものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	名誉の回復等、事業目的に即したものである。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	パンフレットの内容が確定しなかったため、作成が年度内に間に合わなかったものである。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。</p> <p>・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病患者であった方々の名誉回復を図るための事業であり、適切に実施されている。</p> <p>・平成24年度は、パンフレットの作成が年度内に間に合わなかったため、25年度はきちんと配布できるよう改善を図っているところである。</p>					
<b>外部有識者の所見</b>						
点検対象外						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
現状通り	ハンセン病の歴史等に係る普及啓発や、ハンセン病療養所の納骨堂に眠る遺族の改葬費等を行い、ハンセン病元患者の名誉回復を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
現状通り	—					
<b>備考</b>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
	平成22年	270	平成23年	128	平成24年	102

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)エム・プラスコンベンション			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ハンセン病名誉回復 事業等庁費	らい予防法による被害者の名誉回復及び追 悼の日式典運営	1.4			
計		1.4	計		0
B.ハンセン病療養所入所者改葬費			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
ハンセン病名誉回復 事業等庁費	ハンセン病療養所入所者改葬費	0.55			
計		0.55	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エム・プラスコンベンション	らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日式典運営	1.4	6	46.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ハンセン病療養所等死没者遺族	ハンセン病療養所等死没者改葬費	0.55		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					